

事務事業名	豊文化教室運営管理事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12377					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	生涯学習課	課長名	小野 義邦					
			所属担当	生涯学習担当	担当者名	小野 晃利					
基本政策	基本計画体系	V 個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 10	項 04	目 02	細目 020	細々目 05	
政策	22	生涯学習ネットワークの整備充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
施策	35	生涯学習システムの推進									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			法令根拠	南アルプス市学習館条例						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
	豊文化教室の運営管理事業(指定管理)			項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)	
	榎形地区文化協会陶芸部により、陶芸施設の維持管理委託を実施 陶芸部会員数→28人			施設維持管理委託料		150					
							計		150		

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 指定管理者に施設の運営管理を委託し、施設の効率的な活用を図る。 27年度活動予定 指定管理者に施設の運営管理を委託し、施設の効率的な活用を図る。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア指定管理施設数 箇所 イ会員数 人数 ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民、会員	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア人口 人数 イ会員 人数 ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	指定管理を行うことによって経費の節減が図られ、なおかつ効率的な施設の運営が推進され、陶芸文化の普及促進が図られる。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア会員 人数 イ ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	生涯学習等の環境整備が図られることにより、陶芸文化活動が促進し、文化を育む都市づくりにつながる。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 ア利用しやすい施設と感じる市民の割合 % イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	150	150	150	150	150	150	
		事業費計(A)	千円	150	150	150	150	150	150	0
人件費	コスト	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	5	5	5	5	5	5	
		人件費計(B)	千円	23	23	23	23	23	23	0
		(A)+(B)	千円	173	173	173	173	173	173	0
活動指標	ア	箇所	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	イ	人数								
	ウ									
対象指標	ア	人数	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0		
	イ	人数	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0		
	ウ									
成果指標	ア	人数	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0		
	イ									
	ウ									
上位成果指標	ア	%	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0		
	イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	豊文化教室は、豊小体育館駐車場内にある施設であり、1階が陶芸施設、2階が音楽教室で成り立つ。指定管理者は榎形地区文化協会陶芸部。◎指定期間:平成18年4月1日～平成28年3月31日(10ヵ年)
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか?また、今後の予測は?	平成18年度の会員数は24人で現在(平成25年度)は28人で運営しており、ますます盛んに事業が行われている。延べ利用者数889人
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	特になし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	委託料の減額の検討
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	委託料の減額の検討

事務事業名	豊文化教室運営管理事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 指定管理を行うことにより、経費の節減が図られている。また、市教育委員会主催の陶芸教室や小学校への陶芸教室をこの施設を使用することにより陶芸文化の普及促進が図られ、地域文化が保存・継承されている。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 施設の管理運営や地域文化が失われないために市の関与が妥当であるが、地域に根ざした陶芸文化として文化協会に移管できるか見直していくため、管理者との話し合いを行っている。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域文化の保存・継承のために、環境整備は必要であるが、今後活発な活動が図れるか検証していく。また、施設・設備維持管理についても検討が必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 会員のさらなる増加に努め、市民が陶芸を気軽に体験できる施設とするため、体験教室の開催を増やす。市内陶芸愛好者を集め、組織の統一化を図るとともに陶芸教室の管理一本化を図っていく。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 地区文化協会陶芸部の統合 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 陶芸活動の拠点がなくなる。 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 指定管理終了時に、文化協会陶芸部へ払い下げ。市からの施設貸借。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 楡形地区陶芸部のみの自主運営では年々補助金の削減が行われており、これ以上はなかなか難しい。合併前の地域性が根強いので、統合は労力を要するが、努力していかなければならない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現状でも最低限の人件費である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 施設を主に使用している楡形地区文化協会陶芸部に、施設の管理運営を委託することが最も望ましいと思われる。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性において類似事業として市文化協会の「市内陶芸施設維持管理事業(甲西・八田)」を「豊文化教室」に統合することで解消できるが、運営上の問題でなかなか実行できない。ただし、将来的に甲西・八田窯が利用できなくなった時点では検討対象となる。(その前に豊文化教室の陶芸窯が壊れるかも知れない。)

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 特になし。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 特になし。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ⑪																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					